

研究課題：小児 Interval Appendectomy 時の癒着度スコアリング化によるインターバル最適期間の検討

1. 研究の目的

小児の急性虫垂炎に対する治療として、Interval Appendectomy(以下、IA)が広く行われています。そのインターバル期間は周術期合併症を避けるため、一定期間を空ける必要があるとされますが、適切な期間に関しては報告によって異なるのが現状です。そこで当院で施行した IA 症例を後方視的に検討し、手術時の癒着度をスコアリング化して、癒着度の側面から最適時期について検討し、明らかとなれば、今後の診療に良い影響を与えると考えられます。

2. 研究の方法

2019年1月から2025年9月までに当院でIAを施行された患児を対象に診療録を用いて、後方視的に検討します。IA 時の虫垂周囲癒着度のスコアリングは、Peritoneal Adhesion Index(以下、PAI)を虫垂周囲に限定化し独自の指標としたAppendiceal Adhesion Index(以下、AAI)を用います。

3. 研究期間

倫理委員会で承認を得られた日から2029年12月31日まで。

4. 研究に用いる資料・情報の種類

診療録から、入院時・手術時の状態や検査所見、既往歴や併存疾患、手術時期や手術内容、および術後の経過を含めた合併症についての情報を調べまとめます。画像や動画（個人情報を一切含まない）が論文内や学会発表に掲載されることがあります。

5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

この研究で得られた結果は、医学雑誌などに公表されることがあります、患者さんの名前など個人情報は一切分からないようにしますので、プライバシーは守られます。また、この研究で得られたデータが本研究の目的以外に使用されることはありません。

6. 研究組織

研究機関：地方独立行政法人埼玉県立病院機構 埼玉県立小児医療センター

研究責任者：外科 科長 川嶋 寛

研究分担者：外科 医長 高城 翔太郎

7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2026年8月31日までに下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

地方独立行政法人埼玉県立病院機構
埼玉県立小児医療センター
医事担当（代表 048-601-2200）